

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	南あわじ市立福良小学校 教諭 仲野 敬子	研究グループ名 学び合う授業の創造	66
-------------	-------------------------	----------------------	----

研究テーマ分類番号 (18)

(1) 研究テーマ

学び合う授業の創造 ～ 自ら学び 伝えあい 考えあう ～

(2) 研究経過及び具体的な取組

6月27日 授業研究会

- ・場 所：福良小学校
- ・内 容：6年総合的な学習の時間「ありがとう おにぎりの日」
の授業を通して

◇授業づくりについて

- ・まずは、教師が興味を持って調べていく。その中で子どもとできることを見つけていく。
- ・授業を創るための題材は身の回りにたくさん転がっている。

◇「学び合う」ことについて

- ・目的意識を持って
(先生が思いを持たないと子どもには伝わらない)
- ・子どもが伝えたいと思う内容、聞きたいと思う内容を
授業で仕組む。先生は意識してしゃべらない。

7月24日 理念研修会

- ・場 所：福良小学校
- ・内 容：講師を招聘した講演と討議

「単元について」

- ◇目標を達成する学習活動は
- ◇どういう子どもが育てばいい どんな子どもを育てたい
- ◇先生の教材研究(素材の研究)が大切なんです
- ◇単元「福良の漁業」(3年総合的な学習の時間)
- ◇学校の教育目標→総合的な学習の時間の目標→各学年の目標
- ◇教育活動における教師の手だて
- ◇子どもの姿を十分想定
- ◎題材を選ぶのは、その価値がある。人の営みがある。いろんな情報を持ったとき、単元ができる。いろんな方法がある。

12月 8日 授業研究会

・場 所：福良小学校

・内 容：講師を招聘した授業研究会

2年生活科「福良の町 たんけんたい」の授業を通して

◇指導案について

◇単元について

・児童観（子どもの実態）

・教材観

・指導観

◇単元構成図

◇本時の目標

◇本時の展開

◇評価

◎子どもたちは 育てたいように育つ

・単元の中で先生自身が、児童観・教材観・指導観をしっかりと持ち、指導案に考えを表す。

・教授法と教育理論の両輪により子どもの学び合い、育ちが確かなものとなる。